

ごあいさつ

～「DNA鑑定における我が国の人材の絶対不足への対策を！」～

この度は、DNA鑑定学会誌（国際標準逐次刊行物番号 ISSN 2185-078X）のVol.11をここに発刊させていただきますことを、大変嬉しくそして大変有難く思います。

昨年の2018年にDNA鑑定学会誌のVol.10の記念的な発刊を成し遂げました。ここに令和元年という新しい時代の幕開けに相応しく、次の10年の第一歩となる本学会誌のVol.11を発刊できたということは、本学会員の皆様そして理事や評議員そして事務局を始めとする関係者の皆様方のご尽力のお陰だと思えます。

思えば、約10年前に、科学警察所の当時所長であった勝又義直先生と相談し、より実務的なDNA鑑定を研究開発したり、それに従事したりする人々のための発表や議論の場を提供することが必要で重要だということで合意を致しました。

その際、勝又元所長は、「人のDNA鑑定は科学警察所や各地の科学捜査研究所をはじめ大学などでも活発にやられているが、魚種や穀物そして栽培植物などの人以外のDNA鑑定はまだまだこれからで、これらにも焦点を合わせる事が重要だ」と述べられたことを昨日のように覚えています。そして、筆者が会長にそして勝又先生が副会長になって、関係者の皆様のご支援の下で、人だけでなく幅広い生物を対象とした「DNA鑑定学会」を立ち上げた次第です。その後、ご存知のように、本学会は学会初となる「特定非営利活動法人」となって、現在に至るまで活動を続けています。

現在では、司法に関するDNA鑑定の重要性は一段と高まっており、難解な事件や過去の事件（コールドケース）の案件も日増しに増えており、この分野でもDNA鑑定に関する研究者や従事者の数は圧倒的に不足しています。そして、勝又先生の予言通り、人以外のDNA鑑定も大変重要になっていますが、この方面の人材も極めて不足しております。

特に、筆者がよく指摘しますように、がんなどの分子診断マーカーの研究開発に代表されるような医学や医療の分野も「DNA鑑定」の範疇でありますし、魚種の同定などに頻繁に用いられるようになってきている環境DNA（eDNA）の分野も「DNA鑑定」の重要な分野と考えています。さらに、腸内細菌を対象としたバイオーム解析や海洋・土壌・空気のメタゲノム解析も、立派な「DNA鑑定」の分野と考えています。今後このような様々な「DNA鑑定」の分野が実用に向かって発展していくとき、それを担う人材不足は明らかです。とりわけ、ゲノムDNAなどを対象とする以上、ビッグデータという大量情報解析は必須であり、このDNA鑑定における情報解析分野の人材不足は決定的であります。

本学会としても、このようなDNA鑑定学会誌の発刊を通して、老若男女を問わずDNA鑑定に興味を持っていただける人材を増やしていこうと思っております。

会員や関係者皆様のご支援・ご協力を切にお願いする次第であります。

特定非営利活動法人DNA鑑定学会
理事長 五條堀 孝

2019年9月吉日

目次

【原著論文】 Distinction of hybrid between <i>Oncorhynchus masou ishikawae</i> and <i>Salvelinus leucomaenis</i> 1 using aromatase gene and mitochondrial 16S rRNA gene 正岡 哲治	
【原著論文】 南太平洋で漁獲されたクロタチカマスから見出された寄生虫のDNA分析による種判別..... 11 Molecular species identification of parasites appeared from Snake mackerel <i>Gempylus serpens</i> collected in the South Pacific Ocean 柳本 卓	
【原著論文】 DNAマーカーを用いたコイとキンギョの雑種判別..... 19 Identification of hybrid between carp and goldfish using DNA marker 正岡 哲治	
【原著論文】 ミトコンドリアDNA 調節領域の塩基配列分析によるヤマノカミの遺伝的多様性..... 31 Genetic divergence in the roughskin sculpin <i>Trachidermus fasciatus</i> inferred from the sequences of mitochondrial control region 石黒 直哉	
【短 報】 一分子リアルタイムDNAシーケンサー PacBio RS II / Sequelシステムのアプリケーション..... 41 The applications for Single Molecule, Real-Time (SMRT) sequencer, PacBio RS II/Sequel system 北爪 美和子	
【短 報】 Nadia/ Nadia Innovate:マイクロフルイディクスを用いたドロップレットベースのシングルセル調製..... 49 Innovating single cell research with Nadia product family 宮崎 愛	
【I S O】 ISO/IEC17025 (試験所認定) とは..... 55 町田 幸雄	
DNA鑑定学会の概要..... 61	
DNA鑑定提供までのジョブフローと規則..... 67	
特定非営利活動法人 DNA鑑定学会 定款..... 89	